

第10回 「家事分担について」

1 調査目的

みんなで家事を分担する「とも家事」の定着促進事業の展開にあたり、男女間の家事負担の差やその要因等について調査し現状を把握することにより、効果的な施策検討の参考とする。

(担当課:生活文化スポーツ部人権男女共同参画課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

752名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和5(2023)年12月12日～12月25日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。電子申請により回答

3 回答者属性

回答数 355 名 (回答率47.2%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	166	46.8 %
女性	186	52.4 %
答えたくない、わからない、その他	3	0.8 %
計	355	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	1	0.3 %
20代	6	1.7 %
30代	30	8.5 %
40代	92	25.9 %
50代	99	27.9 %
60代	75	21.1 %
70代以上	52	14.6 %
計	355	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	178	50.1 %
県南	93	26.2 %
県北	84	23.7 %
計	355	

(注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

4 調査結果

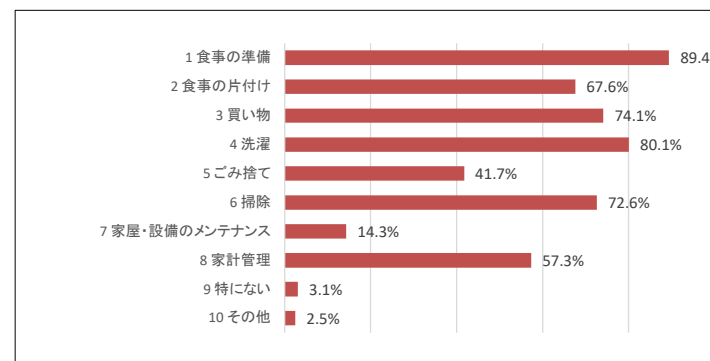
問1 あなたの家庭で、主に女性が行う家事はどれですか？(複数回答可)

	構成比	回答数
1 食事の準備	89.4%	287
2 食事の片付け	67.6%	217
3 買い物	74.1%	238
4 洗濯	80.1%	257
5 ごみ捨て	41.7%	134
6 掃除	72.6%	233
7 家屋・設備のメンテナンス	14.3%	46
8 家計管理	57.3%	184
9 特にない	3.1%	10
10 その他	2.5%	8

(n = 321)

【その他の主な意見】

・育児全般、学校関連の行事参加



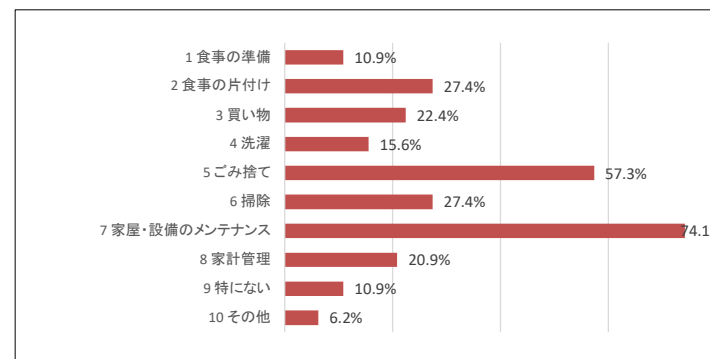
問2 あなたの家庭で、主に男性が行う家事はどれですか？(複数回答可)

	構成比	回答数
1 食事の準備	10.9%	35
2 食事の片付け	27.4%	88
3 買い物	22.4%	72
4 洗濯	15.6%	50
5 ごみ捨て	57.3%	184
6 掃除	27.4%	88
7 家屋・設備のメンテナンス	74.1%	238
8 家計管理	20.9%	67
9 特にない	10.9%	35
10 その他	6.2%	20

(n = 321)

【その他の主な意見】

・子どもの送迎、子どもの教育(学習指導)、庭の管理、ペットの世話



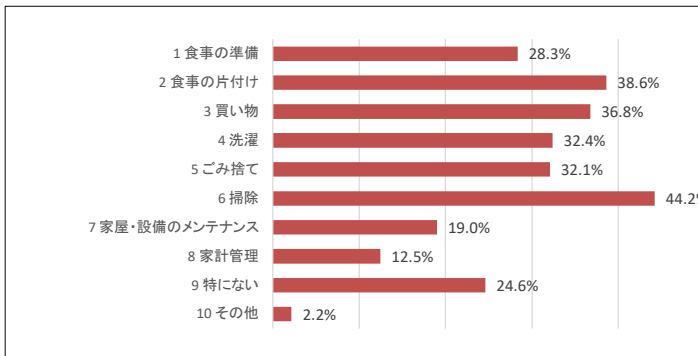
問3 あなたの家庭で、家族が分担して行っている家事はありますか？(複数回答可)

	構成比	回答数
1 食事の準備	28.3%	91
2 食事の片付け	38.6%	124
3 買い物	36.8%	118
4 洗濯	32.4%	104
5 ごみ捨て	32.1%	103
6 掃除	44.2%	142
7 家屋・設備のメンテナンス	19.0%	61
8 家計管理	12.5%	40
9 特にない	24.6%	79
10 その他	2.2%	7

(n = 321)

【その他の主な意見】

- ・分担しているという意識はない。必要な時には協力してやっている。
- ・名前のない家事を子どもたちが手伝ってくれている。



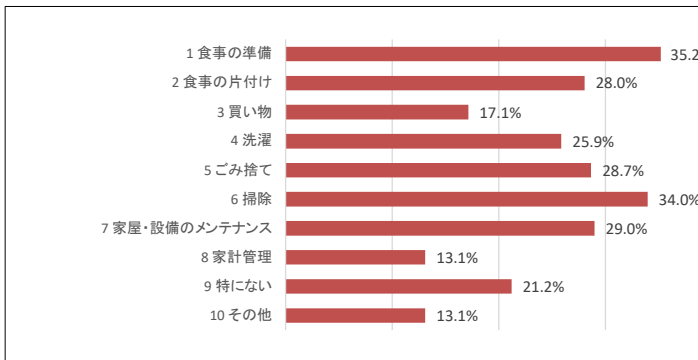
問4 あなたが配偶者(パートナー)に行って欲しいと思う家事は何ですか？(複数回答可)

	構成比	回答数
1 食事の準備	35.2%	113
2 食事の片付け	28.0%	90
3 買い物	17.1%	55
4 洗濯	25.9%	83
5 ごみ捨て	28.7%	92
6 掃除	34.0%	109
7 家屋・設備のメンテナンス	29.0%	93
8 家計管理	13.1%	42
9 特にない	21.2%	68
10 その他	13.1%	42

(n = 321)

【その他の主な意見】

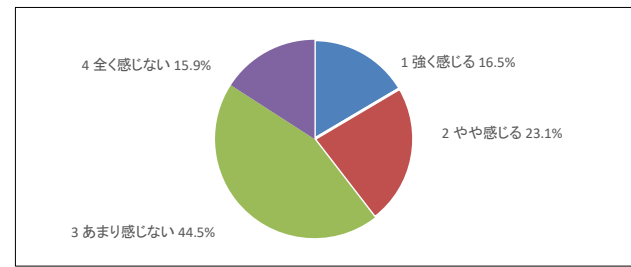
- ・自分のことは自分でして欲しい。
- ・その時の状況によって家事をして欲しい。
- ・ペットの世話



問5 あなたは、ご自身の家庭における家事分担について、不公平感を感じていますか？

	構成比	回答数
1 強く感じる	16.5%	53
2 やや感じる	23.1%	74
3 あまり感じない	44.5%	143
4 全く感じない	15.9%	51

(n = 321)



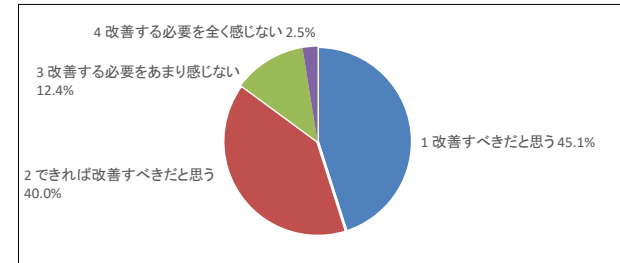
問6 一般的に「家事労働は女性に偏る傾向がある」と言われていることについて、あなたはどのように考えますか？

令和4年版の「内閣府 男女共同参画白書」においては、共働き世帯でも、夫の家事・育児関連時間は極端に短いとの報告があります。

(詳しくはこちらへ→<http://www.tochigi-woman-navi.jp/kajidan/>)

	構成比	回答数
1 改善すべきだと思う	45.1%	160
2 できれば改善すべきだと思う	40.0%	142
3 改善する必要をあまり感じない	12.4%	44
4 改善する必要を全く感じない	2.5%	9

(n = 355)



問7 上記の回答の理由をお聞かせ下さい。

主な意見

1. 改善すべきだと思う

- ・不平等だと思うから(女性の負担が大きいと感じる)。(類似意見 41件)
- ・共働きが多いから。(類似意見 35件)
- ・家事は分担するべきだから。(類似意見 24件)
- ・男女平等・男女共同参画だから。(類似意見 23件)
- ・出来る人が出来るときに行うべき。(類似意見 6件)
- ・一人になったときに困るため。(類似意見 4件)
- ・家事労働が偏るせいで、やりたい仕事でもやめざるをえない状況になるから。
- ・少子化対策としても大切な問題である。
- ・自立や相手への思いやりのためにも、子どものころから教え実行する必要があると思う。

2. できれば改善すべきだと思う

- ・不平等だと思うから(女性の負担が大きいと感じる)。(類似意見 32件)
- ・共働きが多いから。(類似意見 17件)
- ・家事は分担するべきだから。(類似意見 10件)
- ・出来る人が出来るときに行うべき。(類似意見 7件)
- ・家庭により状況や考え方などが違うと思う(類似意見 6件)
- ・男女平等・男女共同参画だから。(類似意見 5件)
- ・一人になったときに困るため。(類似意見 3件)
- ・夫婦で協議を重ねながら改善されるべき。
- ・所得があれば外注でもいいのではないと思う。
- ・共通の時間を多く確保出来るため。

3. 改善する必要をあまり感じない

- ・不公平感を感じていない(類似意見 6件)。
- ・一概にこうするべきとは言えない。勤務時間などで家庭によって変わる。
- ・家事を男女で区別することに違和感を感じる。
- ・改善したくても出来ない場合もあるため。
- ・労働時間の改善がされていない。

4. 改善する必要を全く感じない

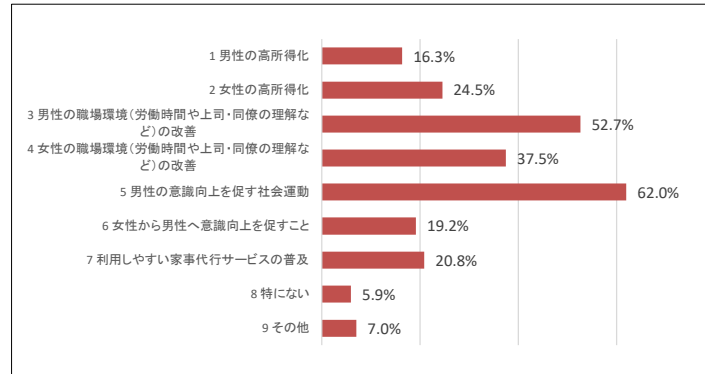
- ・各家庭、各夫婦が決めればいいことであり、一般論やあるべき論、他者がどう言うことではない。
- ・仕事の関係で分担が不可能なため。
- ・男性は外で仕事、女性は仕事にせず家で家事がベストだと思うから。

問8

これを解決しようとする場合、あなたはどんなことが有効だと思いますか？（複数回答可）

	構成比	回答数
1 男性の高所得化	16.3%	58
2 女性の高所得化	24.5%	87
3 男性の職場環境（労働時間や上司・同僚の理解など）の改善	52.7%	187
4 女性の職場環境（労働時間や上司・同僚の理解など）の改善	37.5%	133
5 男性の意識向上を促す社会運動	62.0%	220
6 女性から男性へ意識向上を促すこと	19.2%	68
7 利用しやすい家事代行サービスの普及	20.8%	74
8 特いない	5.9%	21
9 その他	7.0%	25

(n = 355)



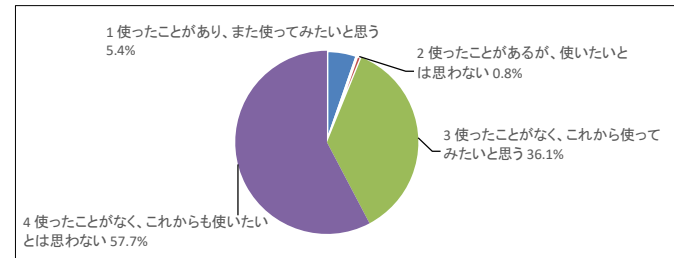
【その他の主な意見】

- ・小さい時から家事を一緒に行い、家事の楽しさを実感させる。・子どもの頃からの教育。・社会全体の意識改革。
- ・男性向けのコンテンツもあるが、夫婦・家族で一緒に楽しめる方向にシフトした方が良い。
- ・どちらかに不満がある場合はしっかりと話し合うこと。

問9 あなたは、「家事代行サービス」を使いたいと思いますか？

	構成比	回答数
1 使ったことがあり、また使ってみたいと思う	5.4%	19
2 使ったことがあるが、使いたいとは思わない	0.8%	3
3 使ったことがなく、これから使ってみたいと思う	36.1%	128
4 使ったことがなく、これからも使いたいとは思わない	57.7%	205

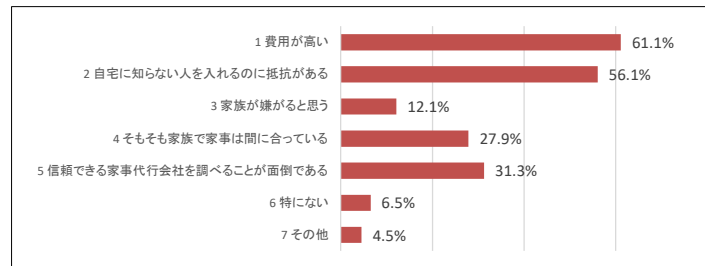
(n = 355)



問10 あなたが「家事代行サービス」を使いにくいと思う事柄があれば、下記からお選び下さい。（複数回答可）

	構成比	回答数
1 費用が高い	61.1%	217
2 自宅に知らない人を入れるのに抵抗がある	56.1%	199
3 家族が嫌がると思う	12.1%	43
4 そもそも家族で家事は間に合っている	27.9%	99
5 信頼できる家事代行会社を調べるのが面倒である	31.3%	111
6 特いない	6.5%	23
7 その他	4.5%	16

(n = 355)



【その他の主な意見】

- ・スタッフが異性のみだと頼むことをためらってしまう。・他者が困惑するほどの散らかりや汚れのある状態では、頼みづらい。
- ・家事代行サービスを利用するなら、信頼性が重要だと思う。結局は他人なので。
- ・情報が少ない。相場、料金表が明確だと良い。・家事を怠けていると思われそうで使えない。

【自由意見】

- ・大事なのは家事を分担すること以上に、つらい時に誰かが負担を軽減するように手助けしたり、日々家事をする人が少しでも手間がかからないように考えることではないかと思う。
- ・もう少し男性が気づき、手を貸してくれたら、世のお母さんたちの負担が減ると思う。
- ・助け合って生きていく、協力し合って社会は成り立つということを小さな時から教えていくことが重要ではないか。職場ももっと家庭を優先して、休暇や時短を率先して取れる会社を評価すべき。労働時間の短縮は必要不可欠である。
- ・「男性対女性」の対立構造ではなく、夫婦と一緒にできる方法はないか、クオリティはどのラインにするのか、お互いの思いや課題を出した上で話し合いができる議論の場をつくる必要があると思う。
- ・家事を「やらない」のか「できない」のかは区別して考える必要がある。誰もが家事を「できる」ようにするために習得の機会を設けるなど、地道な努力も必要だと思う。
- ・目の前の仕事に集中するあまり、夫婦のお互いの考え方を一致させるきっかけづくりがなざりになっている気がする。まずはお互いを尊重し合えるゆとりした時間の共有が必要。
- ・家事を労働と捉えるなら、個人や家庭だけではなく、社会全体で環境を整えることが最優先だと思う。
- ・会社で家事のイベントをすれば良いと思う。
- ・日本はお手伝いさんさえ対外的な心理作用がはたらいて(家事子育てさえ自分で出来ないと思われる)必要な時に人にお願いできない社会なのがとても問題なのではないかと思う。
- ・社会全体で考えていかなければならないとは思いますが、個人の価値観や感覚も違う部分はたくさんあるため一概には言えない。価値観の違いを認めつつ、細かいコミュニケーションが大切なのだと思う。
- ・家事は生きていく上でとても大切な営みだと思う。疎ましく大変なものも捉えて暮らしていくのはもったいないと考える。
- ・家事分担は便利な家電の導入や宅配弁当の利用による調理時間の短縮などの工夫をしている人が大勢いると思う。是非それらの努力にも支援いただけるような仕組みづくりをお願いしたい。
- ・女性が働く環境を何とかして欲しい。
- ・家事にお金を使うのが当たり前を感じるような社会全体の意識改革を早急に行うべきだと思う。